

# 野口雨情作詩

## 「伊奈波音頭」詩碑が建立されました！

童謡「七つの子」「赤い靴」「シャボン玉」等、現在でも歌い継がれ人々の心を魅了する多くの作品を残された詩人野口雨情（茨城県出身1882－1945）は、昭和2年2月20日に「詩と音楽と舞踏の会」講演の為に来岐し、伊奈波神社の五穀祭にヒントを得て「伊奈波音頭」を作詩されました。「伊奈波音頭」は作曲家藤井清水（広島県出身1889－1944）により曲が作られ、レコード盤の発売や各地の民謡踊り大会でも披露される等、広く普及し親しまれました。

平成28年3月5日、岐阜市内在住の崇敬者ご夫妻より「伊奈波音頭」詩碑（本体の高さ1.5m、横1.8m、巾0.3m 文字 直筆扁額より転写 石材 茨城県産 真壁石）のご奉納を賜わり、神社遥拝所前広場の一角に建立がなされました。

### 豊かな心を持ちましょう。

昨今「心が折れる」という言葉を耳にし、目にする機会があります。「心が折れる」ことにより、明日を生きる気力を失い自暴自棄になる人が増えているようです。

詩碑竣工除幕式の折、少年少女達による「童謡合唱」が奉納されました。式に参列された皆様には、目に涙を浮かべる方や「心が洗われた」「童心を思い出した」「元気になった」と感激なされ、改めて童謡の持つ魅力を絶賛されました。

私達の先人は神様の御神徳を戴くと共に、自分自身の心を強固に保つことにより、しっかりと踏ん張って人生を生き抜くことが出来ると信じ実践がなされてきました。

童謡や民謡には人の心を豊かに保つ力があります。忙しい現在を生きる私達も時折「伊奈波音頭」詩碑に向かい合い童謡や民謡を口遊んでみませんか。建立された「詩碑」が訪れる皆様の豊かな心を育み清らかに生きる礎になることを願って止みません。



#### 伊奈波音頭

岐阜の伊奈波さま 五穀の護り  
五穀みのれよ 世は穏に  
五穀みのれば お百姓繁昌  
雨もうるほせ 彌日も照らせ  
里の後生樂 五穀が大事  
五穀波うて 穂に穂もなびけ  
雨が片降りや 日が出て照らせ  
旱魃つづかば 雨雲おこせ  
今年や世がよい 家棟の上で  
岐阜の伊奈波さま この里まもる